

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第2回 常任理事予定者会議議事録

日 時：2014年10月 6日（月）19：00～21：00

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

- （ 理 事 長 ）：須山(敬称省略 以下同)
- （ 副 理 事 長 ）：澤畑、福田(之)、廣田、太城、中島
- （ 専 務 理 事 ）：金
- （ 監 事 ）：篠崎、安野
- （ 担 当 常 任 理 事 ）：羽石、飯野、鈴木
- （ 日 本 J C 関 係 特 別 委 員 長 ）：渡邊
- （ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ）：豊崎
- （ 事 務 局 長 ）：飯沼

- 1. 開会宣言 <金>(役職名省略 以下同)
- 2. JCIクリード唱和 <羽石>
- 3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <鈴木>
- 4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 <飯野>
- 5. 関東地区宣言唱和 <渡邊>
- 6. 出席者の確認 <飯沼>  
出席理事15／18名
- 7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
- 8. 前回議事録の確認 <金>

## 9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

## 10. 2015年度理事長挨拶

<須山>

第2回の常任理事予定者会議に、定刻にお集まりいただきましてありがとうございます。非常に過密なスケジュールになっておりまして、先週は関東地区大会があって、また昨日までは伊達J Cさんとの合同例会、また今週半ばから早い人は松山大会にいかれるかと思えますけども、その合間をぬって、この会議ができることを大変感謝申し上げます。また総務委員会、渉外委員会のみなさん、ほんとうに設営ありがとうございます。また引き続きお願いいたします。2014年度の話になりますけども、昨日の例会をみてちょっとみていろいろ感じたのですね。本当に福田副理事長、金常任2014年度の呼称ですが、大変お疲れ様でした。皆さんもいかれた方は感じたと思いますけれど、やっぱり木村委員長がすごくたくましくみえたと思った、と思ったのですね。入会した当時はやんちゃな一面もあつたりとかしたのですけれど、非常に昨日は伊達J Cさんとの打ち合わせ、準備というものが進んでいて、前日の合同懇親会の中で自己紹介の場面があつたと思うのですけど、そこでけっこうみんなやりきった感が出ていました。もうやることは準備の段階でやりきっていますって。これは実は一番いい表現だなあって思っています、明日になってみなければわかりませんが、みたいな発言じゃなくて、ここまでで、うちはやりきったのだから、これはほんとはよいかたちだなんて思って。それを作つた木村委員長は非常に成長したなあ、と感じました。なぜこの話をしたかと言いますと、我々は人財の育成と自己の成長というのを2015年度のテーマとして出しているわけです。やはり、木村委員長のように成長をしたかたちと同じように、来年の一個一個の事業、例会を進めていく中で、理事、メンバーおよび関わる人たちを成長させていかなければいけないなあって思っています。本日の常任予定者理事会から、新春例会、事業系の議案が入ってまいります。しっかりとここで意見を出しあつて理事会に臨んでいければな、と思っています。かぎられた時間だとは思いますが今日一日よろしくお願ひいたします。

### 11. 直前理事長挨拶

第48代理事長村上欠席のため、割愛

### 12. 協議事項

協-01 2015年度 理事長所信（案）について

協議資料に基づき読み合わせ。

<安野> 細かいところで1箇所、93行目。全国大会の主管獲得した暁には、というと

ころなのですけど、主管を獲得した、主管獲得を達成したとかにかえた方がよろしいかなと思います。

<飯野> 文章なのでいろんな書き方があると思うのですけども。9行目なのですが、JC運動は人間力、指導力、社会開発を目的とし、ということで3つが目的になると思うのですけども、人間力の向上とか、指導力向上を目的としという、なんか人間力そのものが目的とするのは文章的につながるのかなあ、というのが感じたところです。それと41行目なのですけども、その経験が、というところ以下で、その経験が人財へと成長させるという文章は、なにをという目的語が入ってないのでちょっと読みにくいのかなあという気がしましたので、その2点だけ個人的に感じたところです。

<羽石> 125行目のところなのですけど。人を磨くことができるのは、人しかないところなのですけども、これは、いないと表現するのがよいのではないかと。ここがちょっと気になりました。

<篠崎> 40行目に関してなんですけども。目的と目標というのがありまして、目的というのは最後の終着点で、目標というのはそれにいくまでのプロセスを指すと思うのですけども。プロセスを明確に持ち、そのプロセスに向かってとなると、たとえば目標を明確に持ち、その目的に向かってだったらわかるのですけど、目標、目標となるとしるべ、しるべとなってしまうので、そこが気になる点かと思うところです。

<豊崎> 統一語句は反映させるものなのでしょうか。

<金> そうですね。

<豊崎> であれば、96行目なのですけど、意識を高揚の高揚という文字が統一語句と異なるかと思います。

<中島> この件なのですけど、理事長所信なので統一語句はとくにこだわらなくていいじゃないかと思うのですけど。理事長のお考えになっている言葉なので、あえて議案上で統一させている語句は別に所信の中では必要ないと思うのですが。

<金> なにかしらの意図があってこの字を使っているのであれば、それでよろしい

のかなと思います。

<須山> いただいたご意見を反映いたしまして、もう一度作成したいと思います。明後日配属会議がございますけども、メンバーから中身について聞かれたときに答えられるような常任理事、また委員長、理事の皆さんにご指導いただければと思います。中身について全然違うことを言ってしまうと伝わりづらいと思いますし、所信というのは入ったメンバーにすると遠いものなのですね。ですからやはり理事メンバーは中心となって中身を紐解いて、読み取っていただいて伝えていくという役割が非常に大きいと思いますので、是非ともよく読み込んでいただきたいなと思います。

協-02 2015年度 基本計画（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より資料の読み上げ。

なし

協-03 2015年度 グループ構成（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より資料の読み上げ。

<羽石> 宮まつり委員会なのですが、過去の検証というのはここにいれなくてもよろしいのでしょうか。一応所信には過去の検証ということが書かれていたと思うのですが、40回という節目ですので、それまでの記念に検証をおこなうことはどうなのかと思います。

<金> 理事長と協議してどうするか検討させていただきます。

協-04 2015年度 総会・例会・事業担当（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より資料の読み上げ。

<福田(智)> 9月のストリートダンス事業の事業名なのですが、県の事業計画書の方で、この前ストリートを抜くという話になったと思います。

<金> そこの呼び方に関しては理事長に相談させていただいて、協議をしたうえでどちらかに統一をさせていただければと思います。

<鈴木> 食育事業なのですけども、市の食育フェアに参加するということで、食育事業というのが正しいのか、食育フェアという名前にしてもいいのではと思います。単独の事業ではないので正式名称にしてもよいのではと思います。

<金> 事業名はLOMの中での事業名なので、そこに合わせる必要はない。LOMとしての食育に関する事業をおこなっていくということなので。

<鈴木> わんぱく相撲例会が5月24日に変更の理由はなぜでしょうか。

<金> もともと31日に設定されておりましたが、現状の日程も変更の可能性がありますけども、31日は非常に運動会が多いところが1つの理由でございます。多く子どもたちに参加してもらいたい、また多くのメンバーに参加してもらいたいということで、こちらの方が適切ではないかという理由で変更させていただいた次第です。

<渡邊> 例会の日付ですけど、11月20日で県の事業計画に出してあるのですけども、実際に資料の中では空欄になっておりますので記入いただければと思います。

<金> 日程空白のところを、わかるところは記載させていただきます。

#### 協-05 2015年度 諸会議要項（案）について

協議資料に基づき、飯沼事務局長より資料の読み上げ。

<須山> 日程はまだ確定ではないので、これでいくということではないと認識ください。まだ日本の予定や地区、ブロック等の予定とかぶってきましてら変更もありえますので、暫定ということで認識いただきたいと思います。

#### 協-06 2015年度 収支予算計画（案）について

協議資料に基づき、豊崎局長より資料の読み上げ。

<飯野> 2点ありまして、公益事業費は大体何%になっていますか。2点目が登録料関係で関東地区大会やありがとう関東地区の登録料がなしということで、一般渉外費が100万円増えているのですがこの関連性はこういったものであるかお聞きしたいと思います。

<金> まず、公益事業比率53、54%というところなのですが、事業の中で全国大会の対話集会在公益事業になる見込みでございますので、そのあたりでまた比率が上がるのかな、というところでございます。あと一般渉外費なのですが、もともと先月までは全国大会の登録料という形で載せさせていただいていたのですが、そのあたりが不確定なところもありますので、まず一般渉外費の方に載せさせていただいて、仮に登録が必要となった場合はそこから捻出しようというかたちでございます。関東地区大会、ありがとう関東地区に関しては現段階でLOMの事業費から前倒しするというかたちをかかえておりませんので、これは0にしてあるというかたちでございます。

<安野> 繰り越しはどれくらいの予想をしていますか。重要だと思うのですが。

<中島> 今年度もいろいろなところでの一般渉外費の支出もございまして、また当初設計の収入、要は会員拡大についてなんですけど、これも大きな収入源の1つでございますが、そこも若干なのですが厳しい状況あるというところと、あとは会費なのですが、納入もいただけてない方も実際にいるというところの収入源もございまして、繰り越しに関しましては金額ベースで100万はいかない、という状況だと思います。ただこれに関しては正直、委員会活動費等々の戻りがあるというところも現実にはございますので、それも含めて読んではおりますが厳しいのでは、というのが今の着地予想です。

<安野> 3月に大きな事業があるので、早めに会費の徴収をした方がよいと思います。

<須山> 会費の件ですこし話をしますと、簡単にいうと入るものを大きくして出ていくものを小さくしなければお金は残らない。当たり前の話だと思うのです。ですので、会員拡大も非常に2014年度進めてきたわけなのですが、取りっぱぐれがあったというところがあると。ここにいる常任理事構成メンバーの皆さんには早めの会費の納入をしっかりとラインでとおしてもらおうということと、やはり緊縮財政なのであまり無駄なことはできないと思いますので、効果的な運動を進めていければなと思います。

#### 協-07 2015年度 県提出事業計画書(案)について

協議資料に基づき、豊崎局長より資料の読み上げ。

<須山> 県事業提出書類というのは、県はこれをみて公益性、一般事業、公益、共益というものを判断すると聞いておりますので、是非とも中身についてみてわか

るようにかえていただきたいなど。ちょっと雑な部分があるので、もう少し書いた方がいい、書き方にこだわった方がいいと思います。まだ時間がありますので、局長としっかりやり取りをしてほしいと思います。書き方なのですが、基本はセンタリングの左詰めになっているのだと思います。なっていないものもありますので、そのあたりはしっかりと統一をしていただいて、数字も半角全角がばらばらなので、そのあたりもきっちり揃えていただきたいなと思います。

協-08 2015年度 諸規定変更（案）について

協議資料に基づき、豊崎局長より資料の読み上げ。

<飯野> こちら資料を理事会に出す前には、改正前改正後でわかるようにアンダーラインを入れていただくとか、変更をしたのか追加をしたのかわかるようにしていただきたいのと、改正前と改正後でたとえばスペースを入れる場所を統一していただかないとみにくくなってしまうと思いますので、こちらの修正をお願いできればと思います。

<金> 体裁の部分、あと変更箇所がわかるようにということで、ありがとうございます。

<鈴木> 質問なのですが、運営規定の中で1か月に1回以上の委員会を開催し、とあるのですが、これは場所の指定等というのはあるのですか。

<金> ないですね。

<鈴木> ということは、たとえば現段階でJCとしては、事務局とルーム、もしくはコンセールの会議室を使用して委員会をやっているじゃないですか。プラス委員会メンバーの会社等々でおこなった場合の議事録作成をする。その時は議事録における開催場所は会社名になるということで、提出をしてもよいということですね。

<金> そちらに関しては場所の規定はございませんので。

<鈴木> 必ず月に1回以上やらなければいけないということですね。

<金> はい。

<須山> コメントありません。

協-09 1月 新春例会開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より資料の読み上げ。

<羽石> 審議資料の4番項のJC案内なのですが、1番最後のページのストリートダンス選手権の記載の中で、2011年度より3回に渡っての箇所を訂正していただきますようお願いします。もう1点質問なのですがわんぱく相撲宇都宮場所の中で、ちびっ子横綱という表記があるのですが、この表記で正しいのか、わんぱく力士というのは聞いたことがあるのですがちびっ子横綱というのははじめて聞いたので、この表現があっているのか質問です。

<飯沼> 確認させていただいた上で、正しい呼称に変更させていただきます。

<飯野> 1点目の質問が、会場が変更となった理由なのですが、新しい取り組みは非常によいのですが、当日こられたシニアの方から質問が出ると思われるのですが。そのあたりどう答えるのか議案の中ではなくても結構なのですが、コンセンサスを作っておいた方がよいのかな、と思います。それともう1点、今回着座の形式ということで、内容をみると委員長、副委員長以上は座っての対応で、それ以外のメンバーはまわりで飲みものを注ぎにいくと、いうかたちで。個人的な感覚なのですが我々だけ座ってということはたぶん食事も出て、かたや同じメンバーなのに立ってなにも食べずに、というのはすべてのメンバーがどう思うのか、ちょっとひっかかるところです。個人的には立食にするなり、別のしつらえの方がよろしいのではないかなと感じます。

<飯沼> 今の想定でいきますと、飲食については同席する委員長も副委員長も食事はしません。ただ来賓が飲食をするなかでふたりがなにも口につけないのはへんだらうというところで、ソフトドリンクだけは出すようにし、来賓と歓談していただくということを考えております。着座するのは今のところ委員長、副委員長、局次長あたりを予定しております。ここにいる執行部の皆さんはいろいろな面識等があるかと思しますので着座をしていただかないで、須山理事長の2015年度の方針を深く周知したいという目的のもと、執行部の皆さま方には周知、交流を円滑に進めるように動いていただきたいというイメージを考えております。

<金> 1点、会場が異なるという点におきましては、シニアの説明できる状況にしていこうと思います。

<飯沼> 会場の選定につきましては、着座形式でこれだけの人数を収容できる点と、受付のスペースが広く確保できる点、あと予算面につきましてもメンバーがいるところでの配慮をいただいている点、これらを総合的に踏まえての選定となります。

<鈴木> 着座の件なのですけども、新春交流会なのですよね。先ほどお話をしていた2015年度の須山理事長の発信をしっかりと聞いてほしいというのはわかるのです。ただ交流会というのは我々と諸先輩、関係者の交流だけじゃなく、参加してくれた人たち同士の交流というのもあると思うのです。そこを無視してしまっているのではないかと思うのですよ。ある程度団体を固めてそこに委員長、副委員長を関係者という点でも振り分けてあるかもしれないのですけども、実際は別の席になってしまったという方などもありうると思います。我々はホスト役として皆さんとの交流という部分を考えると着座というのはおかしいのではないのでしょうか。

<飯沼> 着座のメリットといたしまして、まず誰がどこに座っているかがわかるということがあります。もちろん事前に受付で席次を配ります。着座した時には来賓の方々もみると思うのですよね。そのあたりはこれからも検討しますが、席に座っての交流会というよりも、ある程度自由に動けるようなかたちの交流会にしたいと考えておりますのでそういったしつらえも含め、進めていきたいと思います。

<鈴木> 新年の様々な方たちとの交流の場ということをしっかりと考えたうえで、着座がわるいというわけではなく、よい面とわるい面をとらえたうえで検討いただければと思います。

<飯沼> 来賓の方々どうしの交流の円滑化という着眼点も持ちまして委員会内で検討させていただきます。

<飯野> 実施組織のところなのですけども、財政の面から新春例会で特別会費をどれだけいただけるかというのがその年度の特別会費の収入に大きく関わってくると思われるのですが、特別会員の担当が全国大会招致推進委員会になっているのですけれども、ある程度OBに顔が広い、そしてOBの方をひっぱって

きてなどのできる経験のある方を1人つけていただくと、非常にスムーズなのかなと思います。

<飯沼> このあたりはしっかり見直す必要があると思います。受付のスムーズさ、特別会員の会費の徴収含めたところの導線。そして人を含めた部分、このあたりを委員会内でもう1度しっかりと精査、検討させていただきます。

<渡邊> 着座についてなのですが、前年度の引き継ぎの中に今回はより理事長の考えをわかっていただくためにいろいろな資料を配りたいというのが記載されているのですが、たしかに資料が多ければ今までの立ったままの状態ではかばんを床に置いたり、資料が散らばったりということが想定されるが、座ってやるというのはこういう面ではよいのではないかと思います。先ほどからいろんな意見が出てこれから委員会で精査するということですので、こういったよい意見もあると思うのでしっかりと考えていただきたいと思います。

<飯沼> そういった面も踏まえて委員会内で検討させていただきます。

<太城> J C案内を最初は乾杯後に配るという話でしたが、工夫と効果の項では受付で渡すと、事業内容では乾杯後に渡すと、統一されていないですけどどちらでしょうか。

<飯沼> 乾杯後に委員長、副委員長から配らせたいと考えております。理由といたしましては今回この新春例会の1番の目的であります、より深く2015年度の考えを周知するということで、受付で配布をすることや、引き出物形式でテーブルの下にお土産をしつらえておりますが、そこに一緒に入れておくとこの資料自体に目が向かなくなる。なぜこの資料を作ったかというのをこれを媒体に来賓の方と色々な話をさせていただいて、より2015年度の運動を周知するような会話のきっかけにしたいと想い作っております。そういった意味でいきますと、理事長挨拶が終わった後にこれも作りましたという形で来賓、シニアの皆様が目がこの資料に行くような形でお配りすることが大切じゃないかと考えております。今のところは乾杯の後に配ることを想定しております。

<太城> あと、正副で言ったことが反映されているかがみてわかるようにしてください。そうしないとスムーズに事が運ばないので。これは統一していただ

きたい。

<飯沼> ご指摘のとおり、反映した部分ができるように議案の方、精査していくようにさせていただきます。

<澤畑> これは拡大の担当副理事長としてなのですけど、飯沼事務局長以外も聞いていただきたいのですけども、今後参加員数計画というものを立てていくと思うのですよね。当たり前のように10人とか15人とか書いてくるのですけども、今回15名と書いてある。1番最初に飯沼事務局長にはここを聞きたいのですけども、この根拠はなにでしょうか。15名呼ぶというのはすごく大変なのです。前向きな姿勢、気持ちはありがたいのですけども、根拠がないものを書かれても拡大委員会としてはうれしくもないですし、だったら絶対来る5名の方がうれしいのですよ。ただ書いてあればよいというのであれば書かないでほしい。今後の議案も。絶対15名来なければいけないというのではなくて、15名来るためにこういうことをすると。だったら15名来るのではないかと。そういうところを突き詰めて行ってほしいなど。今回に関してはこれを聞きたい。15名という根拠を。そのためになにをしてくれるのか、というところを。もしそれがなにもないというのであればこれは失礼にあたるので。拡大に対して。やめてもらいたいな、と思うのですけどまず15名の根拠を教えてください。

<飯沼> 澤畑副理事長の考えに対して今回この15名と入れたところには甘い部分があると思っております。去年より頑張ったこの位いったらいいな、という程度の認識でした。しっかりと拡大委員会とも連携をとりながらやっていきたいと思えます。シニアの出欠の返信のFAXであるのですけども、そこには例年そうなのですけどもご紹介いただけるビジターいますかというところもございいますので、そういったシニアへの案内状や電話がけ等も考えてはおりますが、その際には拡大についてもお願いをするような形とかですね、拡大という側面を意識しながら、また参加員数計画に記載する人数につきましてもしっかりと精査した上で次回、議案の方あげさせていただきます。

<澤畑> 拡大と連携をとるとというのは別に連携をとらなくてもよいので、これはあくまでもこの事業に対する参加員数計画なので、別にこの委員会が考えてくれれば、拡大委員会は来てくれた人の対応はします。頑張ってもらってやってください。お願いします。

- <飯沼> かしこまりました。
- <羽石> 予算に関しての質問なのですが、来賓の方の飲食費が3000円、お土産が700円、あわせて3700円が来てくれた方への費用となると思うのですが、今までは5000円の会費をもらって同額、もしくはそれ以上のお返しをする形で事業として収益が発生しない形でやってきたと思うのですが、これはこれでかまわないということなのでしょうか。
- <飯沼> 予算に関する部分ですのでこの場ではお答えするのを控えさせていただき、しっかりと確認したうえでご回答できるようにさせていただきます。
- <太城> 受付がいのちの例会だと思うのですが、その対応の流れというのはどのような感じなのでしょうか。
- <飯沼> 参考資料の7番の配置図（受付）でございます。導線といたしましてはこの4階エレベーターを降りましてシオンという部屋、かなり広い部屋となるのですがそこにはシニア、来賓の受付、来賓を手前、シニアを奥にいたしましてそのまま奥の方に特別会員入会受付を作っております。シニア受付担当にしましては、まだ入会されていない方を特別会員入会受付に誘導する流れを作っております。コート、傘等の手荷物につきましては番号札を用いて保管する形を考えております。お土産等は結婚式の引き出物のようなイメージで各テーブルの方に準備することを考えております。会場入り口は1箇所を考えております。
- <太城> 受付までの流れではなくて、受付でお金を受け取っていかにかに計算間違いをしないために何段構えになっているのかとか、待ち時間をなくすような対応はしているのか、ということを知りたい。
- <飯沼> それもしっかり精査させていただいて報告させていただきたいと思います。
- <飯野> 皆さんに配布する案内なのですが、これから精査されていくのだろうと思いますが、議案をみていてこれはどう使われていくのか、どういう使い方をする資料なのかあまりみえないといいますか、これだけをただ配って読んでなにかを感じるかというたとぶん、極端な話をすると読んで捨てられて終わってしまうと。極端な話、みないかもしれない位のものだと思うのです。ですので、交流会の中でどう使っていくのかわかるようにしていただければという

のと、あと内容を書いているのですけどたとえばこれの1番最後に入会の文言とかそういったのがちょっとでも入っていると入会へとつながっていくのかなと思いますので、次回以降内容を精査していただきたいと思います。

<飯沼> しっかりと精査させていただきます。

<須山> 冷たい言い方をすると書類とかすべてがあまいのだと思うのですね。この新春例会が一発目の事業、例会になるわけですからこれからの2015年度の基準となる例会に、議案になるのだと思うのですね。ですから今多く意見が出たということは、ここにいる構成メンバーはイメージが湧かないのだと思うのですよ。たとえばこの前正副で出た意見ですとコートの受付はいた方がよい、書いてはあるのですけどもじゃあいったい誰がやるのですかとかですね。まだ丸々委員会のところが黒丸だったりとか、担当副理事長が丸々だったりということで、とりあえず埋めて出してきたということが否めないのだと思います。多く出ている着座の意見について話をさせてもらおうと立食と着座ということで実は私毎年着座を提案していて、思い入れの1つだと思って聞いていただきたいと思うのですけども、しっかり席に固まってそこにどの来賓の方がいるということでまわりやすいという部分と、年配の方が多くなってきていると思いますので、やはり着座の方が時間的にはやさしいのかなというふうに思っております。交流の部分で鈴木常任から話出しましたが、いろいろな新年会、新春交流会にいきますけども、やはり普通にまわっているのがイメージですし、そこに張り付いていてまわらないというのはそういう人かもしれませんし、逆によってくる人も多いので交流は深められるのかなというふうに思いますし、どこに誰がいるとわかっていた方がメンバーを連れていきやすかったりするるのでその辺はあまり心配をしていないところではありますが、やはり委員会でもメリット、デメリットを確認していただければと思います。先ほどの話に戻りますが1つ1つをもう少し、タイムスケジュール、シナリオ、導線あたりを確認した方がよいかなと思うのですね。たとえば来賓紹介の時に私は一体どこにいて、正副はどこにいてというところが全然伝わらないですし、委員会役割は一応書いてありますけども7時半に誰々がどこにいるというのがわからないのですね。そのように星取りみたいな形のシナリオ、タイムスケジュールというものをしっかり作って作り込んでいただいて、じゃあ羽石常任がこの時間にはどこにいるか確実にわかる、来客の対応をしているのか、給仕をしているのかというのが、すべてわかるような形で議案は作り込んでいただきたいなあというふうに思っています。もう1点アドバイスとすれば太城副理事長からのOBが突然来たりしたとか、ドタキャンし

た場合にどうするのかというところですけども、何日受付現在ということでは席次は作られた方がいいのですね。そうすればそこまでに出席欠席を出した人で一度作って、それからのドタキャン、当日来たというのは対応できると思いますので、そのようにされた方がよいのではないかと思います。全般的に思ったのが正副で出た意見がここで出ていました。やはり出た意見というのはしっかりと反映していただいて常任に臨んでもらわないと、また同じ質問、回答いうものが繰り返して、またこれが常任から理事会に反映されない、また同じことが起きてしまうので、時間がなかったというのはもちろんそうなので、しっかりと精査をしていただいて次の会議に臨んでいただきたいと思います。その部分だけで20分とか30分押してしまうと1つ1つの議案で積み重なっていくとこれが1時間2時間となってしまうので、その辺りはしっかりと正副または常任で詰めていただけたらというふうに思います。次の理事会まで、全国大会を挟んでしまいますがみんな是非修正をしてもらってよい議案にしていただいて第2回の予定者理事会に臨んでもらえたらな、というふうに思います。よろしくお願いします。

協-10 1月 新春例会告知計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、飯沼事務局長より資料の読み上げ。

<羽石> 案内文なのですが2点ございまして、師走の候なんですけど、こちら11月となっておりますので確認をしていただきたいのが1点。もう1点が11月の吉日となっているのですが、例年はなかったのかなとおもうのですが、その2点。意見です。

<飯沼> 昨年までは12月の日付になっていたかと記憶しています。この件につきましてはよく見直して訂正させていただきます。11月吉日という記載につきましてもこれが常識上どうなのかという点も確認をさせていただきます、しっかりと精査させていただきます。

<鈴木> 質問なのですが案内文にドレスコードは毎年入っていましたか。

<飯沼> 昨年の案内文には入っていることを確認しております。

<鈴木> ビジネスですか。

<飯沼> ビジネスで括弧書きにてネクタイ着用というところまで、来賓の方々に対し

てもシニアの方々に対してもお願いする文面にさせていただいております。

<渡邊> ビジターの案内分をみているのですが、2行目の入会対象は20～38歳となりますという文章はよいのかと。ビジター案内は我々メンバーがビジターに会うという段階で会員の資格というのは把握しているものかと思えますので、あえてこの文章に入れることはないのではないかと思います。

<飯沼> 検討させていただきます。

<羽石> 申込期限なのですが12月26日となっております、その時点ですと12月29日の確認となり、またこの時点で届いてない方への電話確認となると1月8日におこなうにはちょっと急すぎるかなと思いますので、もうちょっと前もって締め切ってもよいのではないかと思います。

<飯沼> そのあたりの日程的なところも含めて検討させていただきます。

<鈴木> 正式名称が1月新春交流会なのか、新春交流会なのか教えていただきたい。

<飯沼> 我々JC内での名称は1月新春例会となります。対外に向けての事業名を新春交流会とさせていただきます。

<鈴木> 返信用はがき裏面に1月が入っているのはまちがいだと思われます。

<飯沼> 訂正させていただきます。

<飯野> 案内文の中で来賓用だと思っておりますが題名のところに公益社団法人宇都宮青年会議所新春交流会のご案内とあり、真ん中の辺りにも公益社団法人宇都宮青年会議所がありまして違和感があります。公益社団法人宇都宮青年会議所を1行でまとめてしまってもよいのか、あるいはJCの方はいらぬのかという点と案内状左側に同じFAX番号が2つあるのでこちらも修正していただきたいと思えます。

<飯沼> しっかりと精査して次回までにはよりよいかたちに修正させていただきます。

<篠崎> 案内状の方で様々な意見がでたのですが、返信用はがきがあるのであれば返信の期限を明記した方がよいのと、来賓の数にはよると思っております。

も受付時間の30分間というのは短いのかなと。たとえばこれが1時間であれば早めに来られた方は受付をして、喫煙等時間を過ごして開場時間に合わせていくなどの余裕も持てるのではないかと思います。全般的に再構築が必要となってくる。あとはネクタイ着用に関しましてはご年配の方に対してはループタイをネクタイ代わりに着用されて出席される方もいますし、スカーフを巻いて来られる方も出てくるのではないかなと思われまので、ここで統一してしまうとハードルがあがり、おもてなしをするという面において意味が違ってきてしまうのかなと思います。もう1点確認なのですが、年内に発送する場合は本年度理事長との連名になってくるのではと感じますので再度確認をお願いします。

<飯沼> しっかりと確認させていただきます。

<飯野> これは11月発送ということなのですが当然予算はまだ次年度の予算はつかないと思うのですが、とりあえず立て替えという理解でよろしいのでしょうか。

<飯沼> そのように考えております。

<金> リストに関しまして私の方から補足なのですが、黄色に塗ってある部分だとかは名前が間違っているだとか1つの団体から2名、3名出ていたり等になります。あとOBの方はシニアクラブと呼ぶのか団体の役職で呼ぶのか、そのあたりもこれからの精査になります。JC関係者につきましては2015年度の役職を調べてその名前を呼ぶということを委員会内でも把握しております。また卒業の方に対しましては最高位と時の役職で出すと統一しておりますがそこまで調べきれてないというのが現状でございます。同じ団体で2名、3名呼んでいる方ははたしてその意図はなになのか、また呼ぶ必要があるものなのかということを、各担当ラインに確認をかけていく形をとっていかうと思っております。1度事務局長からあったように担当ラインの委員長様の方に確認はとってあるのですが再度ですね、資料の方は渉外委員会の方でできるかぎりのところは訂正、修正をおこなって調べていくとともに、その資料の方を各担当ラインに流させていただいて、追加だとか、逆に委員会からの質問だとかを確認を取らせていただきたいと思いますと考えております。理事会までにはそういった流れを取っていきたいと考えておりますのでその点を加味した上でご意見、ご質問をお願いいたします。

<太城> 2015年度としてまず呼ばなくてよい人をリストアップした方が早いのではないのでしょうか。そして2014年度とすりあわせをした方がよいのでは。

<飯沼> そのような方法で精査する方向で進めさせていただきます。

<篠崎> 来賓リストについて、事前に金専務の方から流れの説明があったと思うのですが、備考欄等をつけて漢字の間違い等の確認を誰がしたという表記をすれば確認をする方も責任を持って確認をしていただければと思います。芳名の方の漢字もチェックできると思うので確認をしたという軌跡を残して理事会に臨んでほしいと思います。早めにリストを作成していただいて確認を進めてください。

<飯沼> アドバイスありがとうございます。そういったかたちでしっかりと進め、最終的にはすべて確認を目指し対応していきたいと思います。

<須山> 案内文関係は再度精査していただいて、来場者を増やすポイントはいかに素早く発送するかだと思うのですね。ですから審議、可決したその日に発送だとか、翌日発送できるような委員会内での準備というのは必要だと思います。これが長引いてしまって12月末の発送で届いてない騒ぎが出たりするわけですね。そうすると事務局や事務方は大変だと思いますので、いかに早く、11月20日に発送ができる準備というものを心掛けていただいて進めていただきたいと思います。1つ1つの細やかなところにもぜひ心を配ってやっていただきたいと思います。よろしくお願いします。

### 13. 報告依頼事項

#### 報-01 2015年度 組織図(案)について

<金> まだ空白の部分がございませう。明後日の配属会議で決まっていくな部分がございませうので決まり次第更新をしようと考えております。

#### 報-02 2015年度 対外出向者(案)について

<金> 前回から日本J Cの日本再興会議の方のメンバーが増えておりますので、そちらを確認していただきたいと思ひます。栃木ブロック協議会につきましても倉持基君が委員長として輩出、総括幹事が前田好則君となっております。こ

ちらも確認をお願いしたいと思います。

報-03 2015年度 年間公式スケジュール（案）について

<金> まだ暫定的な部分がございます。ブロック、地区の予定がまったくもってまだ出てきておりませんので、そちら次第で変更の可能性が充分にあるということを是非ですねラインの委員長、副委員長、また理事の方にお伝えいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

報-04 公益社団法人日本青年会議所 2015年度 会頭所信について

<金> ご一読ください。

報-05 公益社団法人日本青年会議所 2015年度 基本資料（案）について

<金> ご一読ください。

報-06 その他

<安野> 本年度関東地区協議会事務局議長 安野事務局長より、関東地区大会のお礼の挨拶。

<鈴木> 宮まつり委員会 鈴木委員長より、菊水祭の案内。

<太城> 会員拡大会議 太城議長より、公開委員会の案内。

<飯沼> 次年度事務局 飯沼事務局長より、会員配属会議の案内。

14. 監事講評

<篠崎>

まず会議に際しまして総務委員会、渉外委員会の皆様ルーティーンな設営、議事録の配信大変お疲れ様です。どうしてもこの総務委員会、渉外委員会はやって当たり前、ちょっとミスをして怒られる。そんなところで決まりきったことをやっていくわけですが、こちらの方も抜けがないようにずっとこれからも確認、確認で続けていっていただきたいと思っております。この会議に関しまして、前回諸事情で出席できなくてようやく2015年度予定者の会議に出席できたこと喜ばしく、また感謝を申し上げる次第でございます。所信に関して読

み合わせの方を拝見させていただきまして、どうしても個人差があって読み上げに関して上手くいく上手くいかないというのがあるかと思うのですが、そちらに関して工夫をされてたとえば緊張するだろうなということで息が続かないのであれば短めに区切ってフレーズを読み上げる。そのような努力も必要になってきますし、また常任理事会構成メンバーであればそういう指導も必要となってきますので、委員長に指導の方もしていただきたいと思います。あと議案の新春交流会に関してはまだ物語が描けてないのかなと思います。昨年のみならず2、3年の引き継ぎが必要となってくるような、年当初の重要な例会ですので、そちらの方も充分におこなっていただきたいと思います。会場の選定に関しましてちょっともめました、もともとの理由というのは私も伺ったのですが、官公庁が西口にあるので、その関係上15分なり、往復で30分。30分あれば来賓の挨拶をいただく方でありまして、1団体挨拶にいけるような計算になりますのでそういったこともありまして西口でおこなっていたというのが現状でありました。ただ西口でやれというのではなくて東口で開催するという旨をしっかりと説明をされてやる分には全然問題ないかと思います。当然この日に設定されたのもスケジュール確保の関係であらかじめわかっていることだと思いますので、挨拶に行くときには東口になってしまうのですが説明を加えるとより丁寧であり、気持ちよく出席していただけるのかなと思います。その他議案の途中で発言させていただきましたのでそちらの方も参考にいただきたいと思います。会議全体を拝見させていただきまして、当然常任理事ということで来ていただいているわけなのですが、本当に積極的な意見が出てよかったのかなと思います。これだけ積極的な意見が出るというのは事前にしっかりと配信をされているわけで、総務委員会としても渉外委員会としても、定刻開催という面ではやったかいがあったなど。そのように思っただけのではないかと思います。事前配信に関しましていろいろ不明な点というのがでてくると思いますが、常任理事会、横のつながりを大切にしてくださいね、これってどういう意味なのだろうと。本来であれば会議の中で言えばよいのですが、事前に確認をしておくということも大切になってくると思いますので、常任理事会の結束というものはかっていただきたいと思います。また今後ですね明後日の会員配属会議となるといよいよメンバーの方もついてきますので、委員長の指導、また委員長との距離を、どんどん縮めていただいて、なにもなくても毎日連絡を取り合う位の関係で進めていただきたいと思います。なにはともあれ今回の会議を拝見させていただいて安心したのが私の感想でございます。まずはこの2014年度と予定者、家庭、そして仕事。1番最初に仕事がかかるかもしれませんが、皆さん4つ以上抱えていると思いますが、怪我のないよう、また会社の人たちも。どうしても怪我をすると気持ちは入っていても動けないという現実がありますので、動けないことによって誰かに迷惑をかけるというのもあります。会議に出られない、という迷惑。また介護してもらおう、という迷惑。そのあたりの関係もありますので、なるべく体調管理は気を付けて素晴らしいスタートができるよう、厳しくこの予定者の段階を乗り切っていただきたいと思います。言葉整いませんが以上で監事講評とさせていただきます。

15. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第2回 常任理事会議事録

議長：( 専務理事 ) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：